

**イラリス特定使用成績調査
(CACZ885G1401, 全身型若年性特発性関節炎)
の中間集計結果**

最新情報に基づき、薬剤を適正かつ安全にご使用いただくために、イラリス特定使用成績調査（CACZ885G1401, 全身型若年性特発性関節炎）の中間集計結果を、ノバルティスファーマ株式会社 医療関係者向け情報サイト（DR's Net）に掲載致しました。

<留意点>

- 2016年12月～2024年6月の間で収集された情報です
- 中間の結果であるため、今後、結果は更新されます
- 安全性情報を掲載しています

添付文書：2021年11月改訂（第2版）※ 抜粋

【効能又は効果】

- 全身型若年性特発性関節炎

【用法及び用量】

〈全身型若年性特発性関節炎〉

通常、カナキヌマブ（遺伝子組換え）として1回4mg/kgを、4週毎に皮下投与する。
1回最高用量は300mgとする。

※本剤の使用に際しては、最新の添付文書をご参照ください。

当該調査単位期間終了日（2024 年 6 月 30 日）までの結果の概要

製造販売後調査の標題	イラリス皮下注用 150 mg, イラリス皮下注射液 150 mg 特定使用成績調査 (SJIA, CACZ885G1401)
調査の課題及び目的	全身型若年性特発性関節炎患者を対象に, イラリス皮下注用 150 mg 及びイラリス皮下注射液 150 mg を使用実態下で長期投与したときの安全性及び有効性を検討する。
調査デザイン	多施設共同, 中央登録方式, 非対照, 非盲検, 全例調査方式の特定使用成績調査
主要評価項目	本剤投与開始時から観察期間終了時までの有害事象, 重篤な有害事象, 副作用, 重篤な副作用, 安全性検討事項に設定した項目の副作用の発現割合
結果	<p>当該調査単位期間終了日までに 129 例の登録が確定され, 127 例の調査票データが固定された。このうち適応外使用の症例 3 例を除外した 124 例を安全性解析対象症例とした (添付資料 Table AS_T001)。</p> <p>本剤投与開始時点の年齢の中央値 (範囲) は 10.0 (1~51) 歳であり, 6 歳以上 12 歳未満 (37.90%) 及び 12 歳以上 20 歳未満 (32.26%) が多くを占めた。男性は 43.55%, 女性は 56.45% であった。MAS の既往歴を有する症例は 7.26% であった (添付資料 Table DM_T001)。</p> <p>本剤の投与期間 (休薬含む) の中央値 (範囲) は 710 (1~729) 日, 本剤の総投与回数の中央値 (範囲) は 25 (1~29) 回であった (添付資料 Table EX_T001)。</p> <p>有害事象の発現割合は 73.39% (91/124 例) であった。PT 別で発現割合が最も高かった事象はスチル病 (19.35%) であり, 次いで上気道の炎症 (14.52%), 胃腸炎及び血球貪食性リンパ組織球症 (8.87%), COVID-19 (8.06%), 肝機能異常 (7.26%) であった。重篤な有害事象の発現割合は 39.52% (49/124 例) であった。PT 別で発現割合が最も高かった事象はスチル病 (13.71%), 次いで血球貪食性リンパ組織球症 (8.87%) であり, その他の事象はいずれも 2% 以下であった (添付資料 Table AE_T001-1, Table AE_T001-3)。</p> <p>副作用の発現割合は 28.23% (35/124 例) であった。PT 別で発現割合が最も高かった事象は血球貪食性リンパ組織球症 (4.03%) であり, 次いで上気道の炎症 (3.23%), スチル病 (2.42%) であった。重篤な副作用の発現割合は 17.74% (22/124 例) であった。PT 別で発現割合が最も高かった事象は血球貪食性リンパ組織球症 (4.03%) であり, 次いで菌血症, 伝染性単核症, クロウン病, スチル病 (1.61%) であった。重篤な副作用のうち, 本剤の投与中止に至った 1 例 (クロウン病) を除き, いずれの事象も転帰は回復又は軽快であった (添付資料 Table AE_T001-2, Table AE_T001-4, Listing AE_L001)。</p> <p>死亡に至った有害事象は 2 例に認められた (日和見感染及び脳出血が 1 例, エプスタイン・バーウイルス感染が 1 例)。1 例は 25 歳男性で, 本剤投与開始後 1 ヶ月以内に日和見感染及び脳出血が認められ, 事象発現から約 2 ヶ月後に死亡に至った。いずれの事象も本剤との関連なしと調査担当医により判断された。本剤以外に疑われる要因は, 日和見感染は免疫低下, 脳出血は不明であった。残り 1 例は 4 歳女性で, 本剤投与開始から 139 日目にエプスタイン・バーウイルス感染が認められた。本事象に起因した症状として肝腫大, 脾臓腫大が認められ, 事象発現から 38 日後に肝破裂し死亡した。本事象と本剤との関連性は否定できないと調査担当医により判断された (添付資料 Listing AE_L002)。</p> <p>安全性検討事項の副作用の発現割合は, 「感染症 (日和見感染を含む)」が 11.29%, 「MAS」が 4.03%, 「肝機能障害」が 2.42%, 「好中球減少」が 1.61% であった。「ショック, アナフィラキシー」及び「悪性腫瘍」の発現は認められなかった (添付資料 Table AE_T011-1, Table AE_T011-2, Table AE_T011-3)。</p>
結論	本調査と承認時の主な副作用の種類は類似しており, 当該調査単位期間終了日までに安全性検討事項を含め新たに懸念される事象はなかった。今後も本剤の安全性情報を収集し, 新たな懸念事項が認められた場合には適切な措置を講じることとする。
備考	添付資料: 解析結果

略語一覧

略号	省略していない語 (英)	省略していない語 (日)
COVID-19	Coronavirus Disease 19	新型コロナウイルス感染症
MAS	Macrophage Activation Syndrome	マクロファージ活性化症候群
SJIA	Systemic-onset Juvenile Idiopathic Arthritis	全身型若年性特発性関節炎

- 01_Table AS_T001 : 症例構成
- 02_Table DM_T001 : 人口統計学的特性および疾患特性 (安全性解析対象症例)
- 03_Table EX_T001 : 服薬状況 (安全性解析対象症例)
- 04_Table AE_T001-1 : 有害事象発現状況 (SOC, PT 別) (安全性解析対象症例)
- 05_Table AE_T001-2 : 副作用発現状況 (SOC, PT 別) (安全性解析対象症例)
- 06_Table AE_T001-3 : 重篤な有害事象発現状況 (SOC, PT 別) (安全性解析対象症例)
- 07_Table AE_T001-4 : 重篤な副作用発現状況 (SOC, PT 別) (安全性解析対象症例)
- 08_Table AE_T011-1 : 安全性検討事項 (有害事象及び副作用) の発現状況
(安全性検討事項, PT 別) (安全性解析対象症例)
- 09_Table AE_T011-2 : 安全性検討事項 (有害事象及び重篤な有害事象) の発現状況
(安全性検討事項, PT 別) (安全性解析対象症例)
- 10_Table AE_T011-3 : 安全性検討事項 (副作用及び重篤な副作用) の発現状況
(安全性検討事項, PT 別) (安全性解析対象症例)
- 11_Listing AE_L001 : 有害事象一覧表 (安全性解析対象症例)
- 12_Listing AE_L002 : 死亡症例一覧表 (安全性解析対象症例)
- 13_Table FORM2 : 製造販売後調査等における副作用・感染症の発現状況一覧表
(別紙様式 2) (安全性解析対象症例)
- 14_Listing FORM12_sup: 安全性検討事項の各リスクの定義

Table AS_T001: 症例構成

解析対象	n
登録施設	71
登録確定症例 (登録のみを除く)	129
登録のみ症例	41
調査票未収集症例	2
収集不能*	1
調査票収集中 (再調査中を含む)	1
調査票固定施設	57
調査票固定症例	127
安全性解析対象除外症例	3
適応外使用の症例	3
安全性解析対象症例	124

Table AS_T001: 症例構成

解析対象	n
有効性解析対象除外症例	11
カナキヌマブ使用歴有りの症例	11
有効性解析対象症例	113

転院症例の施設は転院前後でそれぞれカウントした。

転院症例については転院前後を合わせて1例とカウントした。

- 登録症例数（転院症例紐付前）：194例

- 調査票回収症例数（転院症例紐付前）：146例

* 1冊も収集できない症例

安全性解析対象除外症例及び有効性解析除外症例について、複数の除外理由を有する症例はそれぞれの除外理由でカウントした。

Table DM_T001: 人口統計学的特性および疾患特性 (安全性解析対象症例)

背景要因	安全性解析対象症例 N=124
性別 - n (%)	
男	54 (43.55)
女	70 (56.45)
年齢 (歳)	
症例数	124
平均値 (標準偏差)	11.4 (7.39)
中央値	10.0
最小値 - 最大値	1 - 51
年齢カテゴリー - n (%)	
2歳未満	1 (0.81)
2歳以上4歳未満	9 (7.26)
4歳以上6歳未満	16 (12.90)
6歳以上12歳未満	47 (37.90)
12歳以上20歳未満	40 (32.26)
20歳以上	11 (8.87)

Table DM_T001: 人口統計学的特性および疾患特性 (安全性解析対象症例)

背景要因	安全性解析対象症例 N=124
年齢 (小児/日本) - n (%)	
15歳未満	98 (79.03)
15歳以上	26 (20.97)
年齢 (小児/EU) - n (%)	
18歳未満	101 (81.45)
18歳以上	23 (18.55)
本剤使用理由 - n (%)	
全身型若年性特発性関節炎 (SJIA)	124 (100.00)
その他	0 (0.00)
罹病期間 (ヵ月)	
症例数	117
平均値 (標準偏差)	67.88 (71.137)
中央値	48.03
最小値 - 最大値	0.4 - 410.2

Table DM_T001: 人口統計学的特性および疾患特性 (安全性解析対象症例)

背景要因	安全性解析対象症例 N=124
罹病期間カテゴリー - n (%)	
6ヵ月以下	18 (14.52)
6ヵ月超4年未満	40 (32.26)
4年以上	59 (47.58)
不明・未記載	7 (5.65)
合併症 - n (%)	
なし	67 (54.03)
あり	57 (45.97)
合併症：活動性又は再発性の細菌，真菌又はウイルス感染 - n (%)	
なし	124 (100.00)
あり	0 (0.00)
合併症：肝機能障害 - n (%)	
なし	115 (92.74)
あり	9 (7.26)

Table DM_T001: 人口統計学的特性および疾患特性 (安全性解析対象症例)

背景要因	安全性解析対象症例 N=124
合併症：腎機能障害 - n (%)	
なし	122 (98.39)
あり	2 (1.61)
既往歴 - n (%)	
なし	90 (72.58)
あり	34 (27.42)
既往歴：悪性腫瘍 - n (%)	
なし	122 (98.39)
あり	2 (1.61)
既往歴：MAS - n (%)	
なし	115 (92.74)
あり	9 (7.26)

Table DM_T001: 人口統計学的特性および疾患特性 (安全性解析対象症例)

背景要因	安全性解析対象症例 N=124
身長 (cm)	
症例数	113
平均値 (標準偏差)	126.15 (22.697)
中央値	125.90
最小値 - 最大値	83.0 - 172.2
体重 (kg)	
症例数	117
平均値 (標準偏差)	33.68 (15.517)
中央値	31.30
最小値 - 最大値	11.0 - 71.3

Table DM_T001: 人口統計学的特性および疾患特性 (安全性解析対象症例)

背景要因	安全性解析対象症例 N=124
体重カテゴリー - n (%)	
25kg以下	42 (33.87)
25kg超50kg以下	55 (44.35)
50kg超75kg以下	20 (16.13)
75kg超	0 (0.00)
不明・未記載	7 (5.65)
BMI (kg/m ²)	
症例数	113
平均値 (標準偏差)	19.91 (4.660)
中央値	18.80
最小値 - 最大値	13.1 - 47.1
原疾患に対する前治療薬 - n (%)	
なし	7 (5.65)
あり	117 (94.35)

Table DM_T001: 人口統計学的特性および疾患特性 (安全性解析対象症例)

背景要因	安全性解析対象症例 N=124
原疾患に対する前治療薬：経口ステロイド剤 - n (%)	
なし	55 (44.35)
あり	69 (55.65)
原疾患に対する前治療薬：カナキヌマブ - n (%)	
なし	114 (91.94)
あり	10 (8.06)
原疾患に対する前治療薬：トシリズマブ - n (%)	
なし	25 (20.16)
あり	99 (79.84)
原疾患に対する前治療薬：エタネルセプト - n (%)	
なし	123 (99.19)
あり	1 (0.81)
原疾患に対する前治療薬：アダリムマブ - n (%)	
なし	121 (97.58)
あり	3 (2.42)

Table DM_T001: 人口統計学的特性および疾患特性 (安全性解析対象症例)

背景要因	安全性解析対象症例 N=124
原疾患に対する前治療薬：アバタセプト - n (%)	
なし	122 (98.39)
あり	2 (1.61)
原疾患に対する前治療薬：その他の生物学的製剤 - n (%)	
なし	122 (98.39)
あり	2 (1.61)
原疾患に対する前治療薬：DMARDs - n (%)	
なし	67 (54.03)
あり	57 (45.97)
原疾患に対する前治療薬：MTX - n (%)	
なし	90 (72.58)
あり	34 (27.42)
原疾患に対する前治療薬：タクロリムス - n (%)	
なし	104 (83.87)
あり	20 (16.13)

Table DM_T001: 人口統計学的特性および疾患特性 (安全性解析対象症例)

背景要因	安全性解析対象症例 N=124
原疾患に対する前治療薬：その他DMARDs - n (%)	
なし	99 (79.84)
あり	25 (20.16)
併用薬（本剤投与開始時） - n (%)	
なし	9 (7.26)
あり	110 (88.71)
不明・未記載	5 (4.03)
併用薬：経口ステロイド剤（本剤投与開始時） - n (%)	
なし	27 (21.77)
あり	89 (71.77)
不明・未記載	8 (6.45)
併用薬：DMARDs（本剤投与開始時） - n (%)	
なし	49 (39.52)
あり	70 (56.45)
不明・未記載	5 (4.03)

Table DM_T001: 人口統計学的特性および疾患特性 (安全性解析対象症例)

背景要因	安全性解析対象症例 N=124
併用薬：MTX（本剤投与開始時） - n (%)	
なし	84 (67.74)
あり	37 (29.84)
不明・未記載	3 (2.42)
併用薬：タクロリムス（本剤投与開始時） - n (%)	
なし	97 (78.23)
あり	25 (20.16)
不明・未記載	2 (1.61)
併用薬：その他のDMARDs（本剤投与開始時） - n (%)	
なし	88 (70.97)
あり	32 (25.81)
不明・未記載	4 (3.23)

Table DM_T001: 人口統計学的特性および疾患特性 (安全性解析対象症例)

背景要因	安全性解析対象症例 N=124
疾患活動性の全般的評価 (PGA) - n (%)	
徴候及び症状なし	30 (24.19)
軽微な徴候及び症状	24 (19.35)
軽度の徴候及び症状	32 (25.81)
中等度の徴候及び症状	17 (13.71)
重度の徴候及び症状	6 (4.84)
不明・未記載	15 (12.10)

Table EX_T001: 服薬状況 (安全性解析対象症例)

	安全性解析対象症例 N=124
本剤投与期間 (休薬含む) *(日)	
症例数	124
平均値 (標準偏差)	619.1 (192.71)
中央値	710.0
Q1 - Q3	677.0 - 721.0
最小値 - 最大値	1 - 729
総曝露期間 (PY)	210.2
本剤投与期間 (休薬含む) カテゴリー - n (%)	
12週未満	3 (2.42)
12週以上24週未満	4 (3.23)
24週以上52週未満	11 (8.87)
52週以上104週未満	93 (75.00)
104週以上	13 (10.48)

Table EX_T001: 服薬状況 (安全性解析対象症例)

	安全性解析対象症例 N=124
本剤総投与回数 (回)	
症例数	124
平均値 (標準偏差)	22.1 (6.92)
中央値	25.0
Q1 - Q3	21.5 - 26.0
最小値 - 最大値	1 - 29
本剤総投与回数カテゴリー - n (%)	
5回未満	3 (2.42)
5回以上10回未満	9 (7.26)
10回以上	112 (90.32)

* 本剤総投与期間 (休業含む) = 本剤最終投与日 - 本剤投与開始日 + 1

PY=patient-year

Table AE_T001-1: 有害事象発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC PT	安全性解析対象症例 N=124 n (%)
合計	91 (73.39)
感染症および寄生虫症	47 (37.90)
胃腸炎	11 (8.87)
COVID-19	10 (8.06)
インフルエンザ	5 (4.03)
上咽頭炎	4 (3.23)
気管支炎	3 (2.42)
咽頭炎	3 (2.42)
菌血症	2 (1.61)
蜂巣炎	2 (1.61)
エプスタイン・バーウイルス感染	2 (1.61)
膿痂疹	2 (1.61)
伝染性単核症	2 (1.61)
マイコプラズマ性肺炎	2 (1.61)
鼻炎	2 (1.61)
皮下組織膿瘍	2 (1.61)

Table AE_T001-1: 有害事象発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC	安全性解析対象症例
PT	N=124
	n (%)
扁桃炎	2 (1.61)
ウイルス感染	2 (1.61)
感染性腸炎	2 (1.61)
エプスタイン・バーウイルス感染再燃	1 (0.81)
毛包炎	1 (0.81)
ウイルス性胃腸炎	1 (0.81)
日和見感染	1 (0.81)
中耳炎	1 (0.81)
爪囲炎	1 (0.81)
歯周炎	1 (0.81)
肺炎	1 (0.81)
誤嚥性肺炎	1 (0.81)
膿疱	1 (0.81)
腎盂腎炎	1 (0.81)
猩紅熱	1 (0.81)
レンサ球菌性扁桃炎	1 (0.81)

Table AE_T001-1: 有害事象発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

		安全性解析対象症例
SOC		N=124
PT		n (%)
	尿路感染	1 (0.81)
	β溶血性レンサ球菌感染	1 (0.81)
	細菌感染	1 (0.81)
	肺炎球菌感染	1 (0.81)
	ウイルス性腸炎	1 (0.81)
	細菌性腸炎	1 (0.81)

Table AE_T001-1: 有害事象発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC	安全性解析対象症例
PT	N=124
	n (%)
良性、悪性および詳細不明の新生物 (嚢胞およびポリープを含む)	1 (0.81)
肛門性器疣贅	1 (0.81)
血液およびリンパ系障害	5 (4.03)
リンパ節炎	2 (1.61)
発熱性好中球減少症	1 (0.81)
鉄欠乏性貧血	1 (0.81)
メトヘモグロビン血症	1 (0.81)
好中球減少症	1 (0.81)
免疫系障害	12 (9.68)
血球貪食性リンパ組織球症	11 (8.87)
低γグロブリン血症	2 (1.61)

Table AE_T001-1: 有害事象発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC	安全性解析対象症例
PT	N=124
	n (%)
内分泌障害	3 (2.42)
副腎機能不全	2 (1.61)
クッシング様症状	1 (0.81)
代謝および栄養障害	5 (4.03)
脱水	2 (1.61)
肥満	2 (1.61)
高カルシウム血症	1 (0.81)
高コレステロール血症	1 (0.81)
高血糖	1 (0.81)
高トリグリセリド血症	1 (0.81)
高尿酸血症	1 (0.81)
低リン血症	1 (0.81)

Table AE_T001-1: 有害事象発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC	安全性解析対象症例
PT	N=124
	n (%)
精神障害	2 (1.61)
不眠症	2 (1.61)
神経系障害	6 (4.84)
頭痛	4 (3.23)
脳出血	1 (0.81)
失神	1 (0.81)
起立不耐性	1 (0.81)
眼障害	4 (3.23)
アレルギー性結膜炎	3 (2.42)
眼精疲労	1 (0.81)
耳および迷路障害	1 (0.81)
頭位性回転性めまい	1 (0.81)

Table AE_T001-1: 有害事象発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC	安全性解析対象症例
PT	N=124
	n (%)
心臓障害	2 (1.61)
うっ血性心不全	1 (0.81)
心原性ショック	1 (0.81)
心膜炎	1 (0.81)
血管障害	2 (1.61)
高血圧	2 (1.61)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	19 (15.32)
上気道の炎症	18 (14.52)
アレルギー性鼻炎	3 (2.42)
喘息	1 (0.81)
喀血	1 (0.81)
口腔咽頭痛	1 (0.81)

Table AE_T001-1: 有害事象発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC	安全性解析対象症例
PT	N=124
	n (%)
胃腸障害	14 (11.29)
便秘	5 (4.03)
クローン病	2 (1.61)
齲歯	2 (1.61)
腹痛	1 (0.81)
潰瘍性大腸炎	1 (0.81)
下痢	1 (0.81)
胃腸出血	1 (0.81)
痔核	1 (0.81)
悪心	1 (0.81)
口腔内不快感	1 (0.81)
急性膵炎	1 (0.81)

Table AE_T001-1: 有害事象発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

		安全性解析対象症例
SOC		N=124
PT		n (%)
肝胆道系障害		11 (8.87)
肝機能異常		9 (7.26)
自己免疫性肝炎		1 (0.81)
肝障害		1 (0.81)

Table AE_T001-1: 有害事象発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC PT	安全性解析対象症例 N=124 n (%)
皮膚および皮下組織障害	16 (12.90)
湿疹	5 (4.03)
蕁麻疹	4 (3.23)
発疹	3 (2.42)
脱毛症	2 (1.61)
皮脂欠乏症	2 (1.61)
ざ瘡	1 (0.81)
円形脱毛症	1 (0.81)
アトピー性皮膚炎	1 (0.81)
多毛症	1 (0.81)
皮膚びらん	1 (0.81)
皮膚線条	1 (0.81)
コリン性蕁麻疹	1 (0.81)

Table AE_T001-1: 有害事象発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC	安全性解析対象症例
PT	N=124
	n (%)
筋骨格系および結合組織障害	37 (29.84)
スチル病	24 (19.35)
関節痛	5 (4.03)
関節炎	4 (3.23)
骨壊死	2 (1.61)
滑液嚢腫	2 (1.61)
骨痛	1 (0.81)
筋肉痛	1 (0.81)
骨粗鬆症	1 (0.81)
顎痛	1 (0.81)
多発性関節炎	1 (0.81)

Table AE_T001-1: 有害事象発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC	安全性解析対象症例
PT	N=124
	n (%)
腎および尿路障害	7 (5.65)
血尿	2 (1.61)
尿管結石症	2 (1.61)
尿路結石	1 (0.81)
着色尿	1 (0.81)
腎性尿崩症	1 (0.81)
蛋白尿	1 (0.81)
急性腎障害	1 (0.81)
妊娠、産褥および周産期の状態	1 (0.81)
妊娠糖尿病	1 (0.81)
絨毛膜下血腫	1 (0.81)

Table AE_T001-1: 有害事象発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC	安全性解析対象症例
PT	N=124
	n (%)
生殖系および乳房障害	1 (0.81)
重度月経出血	1 (0.81)
先天性、家族性および遺伝性障害	2 (1.61)
歯原性嚢胞	1 (0.81)
発育性股関節形成不全	1 (0.81)
一般・全身障害および投与部位の状態	6 (4.84)
発熱	3 (2.42)
胸痛	1 (0.81)
注射部位反応	1 (0.81)
顔面腫脹	1 (0.81)

Table AE_T001-1: 有害事象発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC PT	安全性解析対象症例 N=124 n (%)
臨床検査	14 (11.29)
リンパ球数減少	3 (2.42)
白血球数減少	3 (2.42)
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ増加	2 (1.61)
肝機能検査値上昇	2 (1.61)
アラニンアミノトランスフェラーゼ増加	1 (0.81)
血中クレアチンホスホキナーゼ増加	1 (0.81)
C-反応性蛋白増加	1 (0.81)
フィブリンDダイマー増加	1 (0.81)
リンパ球数異常	1 (0.81)
好中球数減少	1 (0.81)
血清フェリチン増加	1 (0.81)
血液検査異常	1 (0.81)
KL-6増加	1 (0.81)
血清アミロイドA蛋白増加	1 (0.81)

Table AE_T001-1: 有害事象発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC	安全性解析対象症例
PT	N=124
	n (%)
傷害、中毒および処置合併症	8 (6.45)
脊椎圧迫骨折	2 (1.61)
大腿骨骨折	1 (0.81)
上腕骨骨折	1 (0.81)
歯牙損傷	1 (0.81)
外傷性関節障害	1 (0.81)
尺骨骨折	1 (0.81)
処置による疼痛	1 (0.81)
四肢骨折	1 (0.81)

同一症例に同一事象 (PT) が複数回発現した場合、1例としてカウント

SOCは国際合意順, PTは発現割合の降順 -> PTコード順に表示

MedDRA/J version 26.1

Table AE_T001-2: 副作用発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC PT	安全性解析対象症例 N=124 n (%)
合計	35 (28.23)
感染症および寄生虫症	14 (11.29)
菌血症	2 (1.61)
蜂巣炎	2 (1.61)
伝染性単核症	2 (1.61)
インフルエンザ	2 (1.61)
扁桃炎	2 (1.61)
エプスタイン・バーウイルス感染	1 (0.81)
エプスタイン・バーウイルス感染再燃	1 (0.81)
毛包炎	1 (0.81)
胃腸炎	1 (0.81)
ウイルス性胃腸炎	1 (0.81)
上咽頭炎	1 (0.81)
肺炎	1 (0.81)
マイコプラズマ性肺炎	1 (0.81)
猩紅熱	1 (0.81)

Table AE_T001-2: 副作用発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC	安全性解析対象症例
PT	N=124
	n (%)
皮下組織膿瘍	1 (0.81)
尿路感染	1 (0.81)
ウイルス感染	1 (0.81)
肺炎球菌感染	1 (0.81)

Table AE_T001-2: 副作用発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC PT	安全性解析対象症例 N=124 n (%)
良性、悪性および詳細不明の新生物 (嚢胞およびポリープを含む)	1 (0.81)
肛門性器疣贅	1 (0.81)
血液およびリンパ系障害	2 (1.61)
発熱性好中球減少症	1 (0.81)
リンパ節炎	1 (0.81)
免疫系障害	5 (4.03)
血球貪食性リンパ組織球症	5 (4.03)
耳および迷路障害	1 (0.81)
頭位性回転性めまい	1 (0.81)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	4 (3.23)
上気道の炎症	4 (3.23)

Table AE_T001-2: 副作用発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC	安全性解析対象症例
PT	N=124
	n (%)
胃腸障害	4 (3.23)
クローン病	2 (1.61)
潰瘍性大腸炎	1 (0.81)
悪心	1 (0.81)
肝胆道系障害	3 (2.42)
自己免疫性肝炎	1 (0.81)
肝機能異常	1 (0.81)
肝障害	1 (0.81)
皮膚および皮下組織障害	1 (0.81)
脱毛症	1 (0.81)
発疹	1 (0.81)

Table AE_T001-2: 副作用発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC	安全性解析対象症例
PT	N=124
	n (%)
筋骨格系および結合組織障害	4 (3.23)
スチル病	3 (2.42)
関節炎	1 (0.81)
腎および尿路障害	2 (1.61)
着色尿	1 (0.81)
血尿	1 (0.81)
一般・全身障害および投与部位の状態	2 (1.61)
注射部位反応	1 (0.81)
発熱	1 (0.81)

Table AE_T001-2: 副作用発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC	安全性解析対象症例
PT	N=124
	n (%)
臨床検査	3 (2.42)
白血球数減少	2 (1.61)
リンパ球数減少	1 (0.81)
好中球数減少	1 (0.81)
血清フェリチン増加	1 (0.81)

同一症例に同一事象 (PT) が複数回発現した場合, 1例としてカウント

SOCは国際合意順, PTは発現割合の降順 -> PTコード順に表示

MedDRA/J version 26.1

Table AE_T001-3: 重篤な有害事象発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC PT	安全性解析対象症例 N=124 n (%)
合計	49 (39.52)
感染症および寄生虫症	15 (12.10)
菌血症	2 (1.61)
エプスタイン・バーウイルス感染	2 (1.61)
胃腸炎	2 (1.61)
伝染性単核症	2 (1.61)
インフルエンザ	2 (1.61)
COVID-19	2 (1.61)
蜂巣炎	1 (0.81)
エプスタイン・バーウイルス感染再燃	1 (0.81)
上咽頭炎	1 (0.81)
日和見感染	1 (0.81)
歯周炎	1 (0.81)
肺炎	1 (0.81)
マイコプラズマ性肺炎	1 (0.81)
腎盂腎炎	1 (0.81)

Table AE_T001-3: 重篤な有害事象発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC	安全性解析対象症例
PT	N=124
	n (%)
扁桃炎	1 (0.81)
尿路感染	1 (0.81)
ウイルス感染	1 (0.81)
感染性腸炎	1 (0.81)
肺炎球菌感染	1 (0.81)

Table AE_T001-3: 重篤な有害事象発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC	安全性解析対象症例
PT	N=124
	n (%)
良性、悪性および詳細不明の新生物 (嚢胞およびポリープを含む)	1 (0.81)
肛門性器疣贅	1 (0.81)
血液およびリンパ系障害	2 (1.61)
発熱性好中球減少症	1 (0.81)
好中球減少症	1 (0.81)
免疫系障害	11 (8.87)
血球貪食性リンパ組織球症	11 (8.87)
内分泌障害	2 (1.61)
副腎機能不全	2 (1.61)
代謝および栄養障害	1 (0.81)
脱水	1 (0.81)
高カルシウム血症	1 (0.81)

Table AE_T001-3: 重篤な有害事象発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC	安全性解析対象症例
PT	N=124
	n (%)
神経系障害	2 (1.61)
脳出血	1 (0.81)
頭痛	1 (0.81)
心臓障害	1 (0.81)
心膜炎	1 (0.81)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	1 (0.81)
上気道の炎症	1 (0.81)
口腔咽頭痛	1 (0.81)
胃腸障害	4 (3.23)
クローン病	2 (1.61)
胃腸出血	1 (0.81)
急性膵炎	1 (0.81)

Table AE_T001-3: 重篤な有害事象発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC	安全性解析対象症例
PT	N=124
	n (%)
肝胆道系障害	3 (2.42)
自己免疫性肝炎	1 (0.81)
肝機能異常	1 (0.81)
肝障害	1 (0.81)
皮膚および皮下組織障害	1 (0.81)
アトピー性皮膚炎	1 (0.81)
筋骨格系および結合組織障害	20 (16.13)
スチル病	17 (13.71)
関節炎	2 (1.61)
骨壊死	1 (0.81)

Table AE_T001-3: 重篤な有害事象発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC PT	安全性解析対象症例 N=124 n (%)
腎および尿路障害	3 (2.42)
尿路結石	1 (0.81)
腎性尿崩症	1 (0.81)
急性腎障害	1 (0.81)
尿管結石症	1 (0.81)
先天性、家族性および遺伝性障害	1 (0.81)
歯原性嚢胞	1 (0.81)
一般・全身障害および投与部位の状態	2 (1.61)
発熱	2 (1.61)
臨床検査	1 (0.81)
リンパ球数減少	1 (0.81)
白血球数減少	1 (0.81)

Table AE_T001-3: 重篤な有害事象発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC	安全性解析対象症例
PT	N=124
	n (%)
傷害、中毒および処置合併症	1 (0.81)
上腕骨骨折	1 (0.81)

同一症例に同一事象 (PT) が複数回発現した場合, 1例としてカウント

SOCは国際合意順, PTは発現割合の降順 -> PTコード順に表示

MedDRA/J version 26.1

Table AE_T001-4: 重篤な副作用発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC PT	安全性解析対象症例 N=124 n (%)
合計	22 (17.74)
感染症および寄生虫症	10 (8.06)
菌血症	2 (1.61)
伝染性単核症	2 (1.61)
蜂巣炎	1 (0.81)
エプスタイン・バーウイルス感染	1 (0.81)
エプスタイン・バーウイルス感染再燃	1 (0.81)
胃腸炎	1 (0.81)
インフルエンザ	1 (0.81)
肺炎	1 (0.81)
マイコプラズマ性肺炎	1 (0.81)
扁桃炎	1 (0.81)
尿路感染	1 (0.81)
ウイルス感染	1 (0.81)
肺炎球菌感染	1 (0.81)

Table AE_T001-4: 重篤な副作用発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC	安全性解析対象症例
PT	N=124
	n (%)
良性、悪性および詳細不明の新生物 (嚢胞およびポリープを含む)	1 (0.81)
肛門性器疣贅	1 (0.81)
血液およびリンパ系障害	1 (0.81)
発熱性好中球減少症	1 (0.81)
免疫系障害	5 (4.03)
血球貪食性リンパ組織球症	5 (4.03)
胃腸障害	2 (1.61)
クローン病	2 (1.61)
肝胆道系障害	2 (1.61)
自己免疫性肝炎	1 (0.81)
肝障害	1 (0.81)

Table AE_T001-4: 重篤な副作用発現状況 (SOC, PT別) (安全性解析対象症例)

SOC	安全性解析対象症例
PT	N=124
	n (%)
筋骨格系および結合組織障害	3 (2.42)
スチル病	2 (1.61)
関節炎	1 (0.81)
臨床検査	1 (0.81)
リンパ球数減少	1 (0.81)
白血球数減少	1 (0.81)

同一症例に同一事象 (PT) が複数回発現した場合, 1例としてカウント

SOCは国際合意順, PTは発現割合の降順 -> PTコード順に表示

MedDRA/J version 26.1

Table AE_T011-1: 安全性検討事項（有害事象及び副作用）の発現状況（安全性検討事項, PT別）（安全性解析対象症例）

安全性検討事項 PT	安全性解析対象症例 N=124	
	有害事象 n (%)	副作用 n (%)
重要な特定されたリスク	-	-
感染症（日和見感染を含む）	47 (37.90)	14 (11.29)
菌血症	2 (1.61)	2 (1.61)
蜂巣炎	2 (1.61)	2 (1.61)
伝染性単核症	2 (1.61)	2 (1.61)
インフルエンザ	5 (4.03)	2 (1.61)
扁桃炎	2 (1.61)	2 (1.61)
エプスタイン・バーウイルス感染	2 (1.61)	1 (0.81)
エプスタイン・バーウイルス感染再燃	1 (0.81)	1 (0.81)
毛包炎	1 (0.81)	1 (0.81)
胃腸炎	11 (8.87)	1 (0.81)
ウイルス性胃腸炎	1 (0.81)	1 (0.81)
上咽頭炎	4 (3.23)	1 (0.81)
肺炎	1 (0.81)	1 (0.81)
マイコプラズマ性肺炎	2 (1.61)	1 (0.81)
猩紅熱	1 (0.81)	1 (0.81)
皮下組織膿瘍	2 (1.61)	1 (0.81)
尿路感染	1 (0.81)	1 (0.81)
ウイルス感染	2 (1.61)	1 (0.81)
肺炎球菌感染	1 (0.81)	1 (0.81)
気管支炎	3 (2.42)	0 (0.00)
膿痂疹	2 (1.61)	0 (0.00)
日和見感染	1 (0.81)	0 (0.00)
中耳炎	1 (0.81)	0 (0.00)
爪囲炎	1 (0.81)	0 (0.00)
歯周炎	1 (0.81)	0 (0.00)
咽頭炎	3 (2.42)	0 (0.00)
誤嚥性肺炎	1 (0.81)	0 (0.00)
膿疱	1 (0.81)	0 (0.00)
腎盂腎炎	1 (0.81)	0 (0.00)

Table AE_T011-1: 安全性検討事項（有害事象及び副作用）の発現状況（安全性検討事項, PT別）（安全性解析対象症例）

安全性検討事項 PT	安全性解析対象症例 N=124	
	有害事象 n (%)	副作用 n (%)
鼻炎	2 (1.61)	0 (0.00)
レンサ球菌性扁桃炎	1 (0.81)	0 (0.00)
β溶血性レンサ球菌感染	1 (0.81)	0 (0.00)
感染性腸炎	2 (1.61)	0 (0.00)
細菌感染	1 (0.81)	0 (0.00)
ウイルス性腸炎	1 (0.81)	0 (0.00)
細菌性腸炎	1 (0.81)	0 (0.00)
COVID-19	10 (8.06)	0 (0.00)

Table AE_T011-1: 安全性検討事項（有害事象及び副作用）の発現状況（安全性検討事項, PT別）（安全性解析対象症例）

安全性検討事項 PT	安全性解析対象症例 N=124	
	有害事象 n (%)	副作用 n (%)
好中球減少	7 (5.65)	2 (1.61)
白血球数減少	3 (2.42)	2 (1.61)
発熱性好中球減少症	1 (0.81)	1 (0.81)
リンパ球数減少	3 (2.42)	1 (0.81)
好中球数減少	1 (0.81)	1 (0.81)
リンパ球数異常	1 (0.81)	0 (0.00)
好中球減少症	1 (0.81)	0 (0.00)
重要な潜在的リスク	-	-
ショック, アナフィラキシー	0 (0.00)	0 (0.00)
悪性腫瘍	0 (0.00)	0 (0.00)
肝機能障害	13 (10.48)	3 (2.42)
自己免疫性肝炎	1 (0.81)	1 (0.81)
肝機能異常	9 (7.26)	1 (0.81)
肝障害	1 (0.81)	1 (0.81)
アラニンアミノトランスフェラーゼ増加	1 (0.81)	0 (0.00)
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ増加	2 (1.61)	0 (0.00)
肝機能検査値上昇	2 (1.61)	0 (0.00)
MAS	11 (8.87)	5 (4.03)
血球貪食性リンパ組織球症	11 (8.87)	5 (4.03)

同一症例に同一事象（PT）が複数回発現した場合、1例としてカウント

安全性検討事項（調査票での記載順）-> PTは副作用の列での発現割合の降順 -> PTコード順に表示

MedDRA/J version 26.1

Table AE_T011-2: 安全性検討事項（有害事象及び重篤な有害事象）の発現状況（安全性検討事項, PT別）（安全性解析対象症例）

安全性検討事項 PT	安全性解析対象症例 N=124	
	有害事象 n (%)	重篤な有害事象 n (%)
重要な特定されたリスク	-	-
感染症 (日和見感染を含む)	47 (37.90)	15 (12.10)
菌血症	2 (1.61)	2 (1.61)
エプスタイン・バーウイルス感染	2 (1.61)	2 (1.61)
胃腸炎	11 (8.87)	2 (1.61)
伝染性単核症	2 (1.61)	2 (1.61)
インフルエンザ	5 (4.03)	2 (1.61)
COVID-19	10 (8.06)	2 (1.61)
蜂巣炎	2 (1.61)	1 (0.81)
エプスタイン・バーウイルス感染再燃	1 (0.81)	1 (0.81)
上咽頭炎	4 (3.23)	1 (0.81)
日和見感染	1 (0.81)	1 (0.81)
歯周炎	1 (0.81)	1 (0.81)
肺炎	1 (0.81)	1 (0.81)
マイコプラズマ性肺炎	2 (1.61)	1 (0.81)
腎盂腎炎	1 (0.81)	1 (0.81)
扁桃炎	2 (1.61)	1 (0.81)
尿路感染	1 (0.81)	1 (0.81)
ウイルス感染	2 (1.61)	1 (0.81)
感染性腸炎	2 (1.61)	1 (0.81)
肺炎球菌感染	1 (0.81)	1 (0.81)
気管支炎	3 (2.42)	0 (0.00)
毛包炎	1 (0.81)	0 (0.00)
ウイルス性胃腸炎	1 (0.81)	0 (0.00)
膿痂疹	2 (1.61)	0 (0.00)
中耳炎	1 (0.81)	0 (0.00)
爪囲炎	1 (0.81)	0 (0.00)
咽頭炎	3 (2.42)	0 (0.00)
誤嚥性肺炎	1 (0.81)	0 (0.00)
膿疱	1 (0.81)	0 (0.00)

Table AE_T011-2: 安全性検討事項（有害事象及び重篤な有害事象）の発現状況（安全性検討事項, PT別）（安全性解析対象症例）

安全性検討事項 PT	安全性解析対象症例 N=124	
	有害事象 n (%)	重篤な有害事象 n (%)
鼻炎	2 (1.61)	0 (0.00)
猩紅熱	1 (0.81)	0 (0.00)
皮下組織膿瘍	2 (1.61)	0 (0.00)
レンサ球菌性扁桃炎	1 (0.81)	0 (0.00)
β溶血性レンサ球菌感染	1 (0.81)	0 (0.00)
細菌感染	1 (0.81)	0 (0.00)
ウイルス性腸炎	1 (0.81)	0 (0.00)
細菌性腸炎	1 (0.81)	0 (0.00)

Table AE_T011-2: 安全性検討事項（有害事象及び重篤な有害事象）の発現状況（安全性検討事項, PT別）（安全性解析対象症例）

安全性検討事項 PT	安全性解析対象症例 N=124	
	有害事象 n (%)	重篤な有害事象 n (%)
好中球減少	7 (5.65)	2 (1.61)
発熱性好中球減少症	1 (0.81)	1 (0.81)
リンパ球数減少	3 (2.42)	1 (0.81)
好中球減少症	1 (0.81)	1 (0.81)
白血球数減少	3 (2.42)	1 (0.81)
リンパ球数異常	1 (0.81)	0 (0.00)
好中球数減少	1 (0.81)	0 (0.00)
重要な潜在的リスク	-	-
ショック, アナフィラキシー	0 (0.00)	0 (0.00)
悪性腫瘍	0 (0.00)	0 (0.00)
肝機能障害	13 (10.48)	3 (2.42)
自己免疫性肝炎	1 (0.81)	1 (0.81)
肝機能異常	9 (7.26)	1 (0.81)
肝障害	1 (0.81)	1 (0.81)
アラニンアミノトランスフェラーゼ増加	1 (0.81)	0 (0.00)
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ増加	2 (1.61)	0 (0.00)
肝機能検査値上昇	2 (1.61)	0 (0.00)
MAS	11 (8.87)	11 (8.87)
血球貪食性リンパ組織球症	11 (8.87)	11 (8.87)

同一症例に同一事象（PT）が複数回発現した場合、1例としてカウント

安全性検討事項（調査票での記載順）-> PTは重篤な有害事象の列での発現割合の降順 -> PTコード順に表示
MedDRA/J version 26.1

Table AE_T011-3: 安全性検討事項（副作用及び重篤な副作用）の発現状況（安全性検討事項, PT別）（安全性解析対象症例）

安全性検討事項 PT	安全性解析対象症例 N=124	
	副作用 n (%)	重篤な副作用 n (%)
重要な特定されたリスク	-	-
感染症 (日和見感染を含む)	14 (11.29)	10 (8.06)
菌血症	2 (1.61)	2 (1.61)
伝染性単核症	2 (1.61)	2 (1.61)
蜂巣炎	2 (1.61)	1 (0.81)
エプスタイン・バーウイルス感染	1 (0.81)	1 (0.81)
エプスタイン・バーウイルス感染再燃	1 (0.81)	1 (0.81)
胃腸炎	1 (0.81)	1 (0.81)
インフルエンザ	2 (1.61)	1 (0.81)
肺炎	1 (0.81)	1 (0.81)
マイコプラズマ性肺炎	1 (0.81)	1 (0.81)
扁桃炎	2 (1.61)	1 (0.81)
尿路感染	1 (0.81)	1 (0.81)
ウイルス感染	1 (0.81)	1 (0.81)
肺炎球菌感染	1 (0.81)	1 (0.81)
毛包炎	1 (0.81)	0 (0.00)
ウイルス性胃腸炎	1 (0.81)	0 (0.00)
上咽頭炎	1 (0.81)	0 (0.00)
猩紅熱	1 (0.81)	0 (0.00)
皮下組織膿瘍	1 (0.81)	0 (0.00)
好中球減少	2 (1.61)	1 (0.81)
発熱性好中球減少症	1 (0.81)	1 (0.81)
リンパ球数減少	1 (0.81)	1 (0.81)
白血球数減少	2 (1.61)	1 (0.81)
好中球数減少	1 (0.81)	0 (0.00)
重要な潜在的リスク	-	-
ショック, アナフィラキシー	0 (0.00)	0 (0.00)
悪性腫瘍	0 (0.00)	0 (0.00)

Table AE_T011-3: 安全性検討事項（副作用及び重篤な副作用）の発現状況（安全性検討事項, PT別）（安全性解析対象症例）

安全性検討事項 PT	安全性解析対象症例 N=124	
	副作用 n (%)	重篤な副作用 n (%)
肝機能障害	3 (2.42)	2 (1.61)
自己免疫性肝炎	1 (0.81)	1 (0.81)
肝障害	1 (0.81)	1 (0.81)
肝機能異常	1 (0.81)	0 (0.00)
MAS	5 (4.03)	5 (4.03)
血球貪食性リンパ組織球症	5 (4.03)	5 (4.03)

同一症例に同一事象（PT）が複数回発現した場合、1例としてカウント

安全性検討事項（調査票での記載順）-> PTは重篤な副作用の列での発現割合の降順 -> PTコード順に表示
MedDRA/J version 26.1

Listing AE_L001: 有害事象一覧表 (安全性解析対象症例)

症例 番号	年齢/ 性別	治験 継続/ 新規	事象名		発現日/ 発現時期 (日)	転帰日/ 持続期間 (日)	直前の投与 からの日数 (日)	転帰	重篤度	重篤度 詳細	重症度	本剤の 処置	処置 (対処療法) の有無	因果 関係	本剤以外に 疑われる 要因
			医師記載/ LLT/ PT/ SOC												
	9/男	継続	インフルエンザA/ A型インフルエンザウ イルス感染/ インフルエンザ/ 感染症および寄生虫 症		2019-01-25/ 185	2019-01-29/ 5	16	回復	非重篤	-	軽度	2	有	0	通常の感染
	9/男	継続	原疾患再燃/ 全身型若年性特発性関 節炎/ スチル病/ 筋骨格系および結合 組織障害		2019-04-02/ 252	2019-04-27/ 26	1	軽快	非重篤	-	軽度	5	有	1	-

Listing AE_L001: 有害事象一覧表 (安全性解析対象症例)

症例 番号	年齢/ 性別	治験 継続/ 新規	事象名		発現日/ 発現時期 (日)	転帰日/ 持続期間 (日)	直前の投与 からの日数 (日)	転帰	重篤度	重篤度 詳細	重症度	本剤の 処置	処置 (対処療法) の有無	因果 関係	本剤以外に 疑われる 要因
			医師記載/ LLT/ PT/ SOC												
	7/女	新規	伝染性膿痂疹/ 伝染性膿痂疹/ 膿痂疹/ 感染症および寄生虫 症		2019-05-20/ 7	2019-10-08/ 142	7	軽快	非重篤	-	軽度	2	有	0	もともと乾燥肌
	7/女	新規	上気道炎/ 上気道の炎症/ 上気道の炎症/ 呼吸器、胸郭および 縦隔障害		2019-12-24/ 225	2019-12-27/ 4	19	回復	非重篤	-	軽度	2	無	0	特になし

Listing AE_L001: 有害事象一覧表 (安全性解析対象症例)

症例 番号	年齢/ 性別	治験 継続/ 新規	事象名		発現日/ 発現時期 (日)	転帰日/ 持続期間 (日)	直前の投与 からの日数 (日)	転帰	重篤度	重篤度 詳細	重症度	本剤の 処置	処置 (対処療法) の有無	因果 関係	本剤以外に 疑われる 要因
			医師記載/ LLT/ PT/ SOC												
	9/男	新規	現疾患の再燃/ 全身型若年性特発性関 節炎/ スチル病/ 筋骨格系および結合 組織障害		2021-06-21/ 582	2021-11-11/ 144	19	軽快	重篤	2, 3	高度	2	無	0	現疾患
	9/女	新規	コロナウイルス感染症/ COVID-19/ COVID-19/ 感染症および寄生虫 症		2022-09-12/ 466	2022-09-26/ 15	25	回復	非重篤	-	軽度	2	無	0	感染症

Listing AE_L001: 有害事象一覧表 (安全性解析対象症例)

症例 番号	年齢/ 性別	治験 継続/ 新規	事象名		発現日/ 発現時期 (日)	転帰日/ 持続期間 (日)	直前の投与 からの日数 (日)	転帰	重篤度	重篤度 詳細	重症度	本剤の 処置	処置 (対処療法) の有無	因果 関係	本剤以外に 疑われる 要因
			医師記載/ LLT/ PT/ SOC												
	13/女	新規	右白蓋形成不全/		2023-04-24/	2023-06-15/	5	軽快	非重篤	-	軽度	2	有	0	原疾患
	13/女	新規	白蓋形成不全/		621	53									
	13/女	新規	発育性股関節形成不 全/												
	13/女	新規	先天性、家族性およ び遺伝性障害												

発現時期：本剤投与開始日をDay 1とした。

持続期間：有害事象の発現日をDay 1とし、回復/軽快/死亡に至るまでの日数とした。

重篤度詳細：1=死亡，2=生命を脅かす，3=治療のための入院もしくは入院期間の延長，4=永続的もしくは重大な障害・機能不全，5=先天性異常，6=医学的に重要

処置：1=増量，2=変更無し，3=減量，4=休薬，5=中止，6=該当せず（中止後発現等），999=不明

因果関係：本剤との因果関係，0=関連なし，1=関連あり

MedDRA/J version 26.1

Listing AE_L002: 死亡症例一覧表 (安全性解析対象症例)

症例番号	年齢/ 性別	事象名 (医師記載/PT)	発現 時期 (日)	死亡 までの 日数	転帰	因果 関係
██████████	25/男	日和見感染症/ 日和見感染	19	67	死亡	0
		脳出血/ 脳出血	25	61	死亡	0
██████████	4/女	EBウイルス/ エプスタイン・バーウイルス感染	139	38	死亡	1

発現時期：本剤投与開始日をDay 1とした。

死亡までの日数：有害事象の発現日をDay 1とし、死亡に至るまでの日数

因果関係：本剤との因果関係、0=関連なし、1=関連あり

MedDRA/J version 26.1

Table FORM2: 製造販売後調査等における副作用・感染症の発現状況一覧表 (別紙様式15)
(安全性解析対象症例)

イラリス皮下注用150 mg・イラリス皮下注射液150 mg特定使用成績調査 (SJIA)

製造販売後調査等の状況	
安全性解析対象症例数	124
副作用等の発現症例数	35
副作用等の発現割合	28.23
副作用等の種類	副作用等の種類別発現症例数 (発現割合)
感染症および寄生虫症	14 (11.29)
菌血症	2 (1.61)
蜂巣炎	2 (1.61)
エプスタイン・バーウイルス感染	1 (0.81)
エプスタイン・バーウイルス感染再燃	1 (0.81)
毛包炎	1 (0.81)
胃腸炎	1 (0.81)
ウイルス性胃腸炎	1 (0.81)
伝染性単核症	2 (1.61)
インフルエンザ	2 (1.61)
上咽頭炎	1 (0.81)
肺炎	1 (0.81)
マイコプラズマ性肺炎	1 (0.81)
猩紅熱	1 (0.81)
皮下組織膿瘍	1 (0.81)
扁桃炎	2 (1.61)
尿路感染	1 (0.81)
ウイルス感染	1 (0.81)
肺炎球菌感染	1 (0.81)
良性、悪性および詳細不明の新生物 (嚢胞およびポリープを含む)	1 (0.81)
肛門性器疣贅	1 (0.81)
血液およびリンパ系障害	2 (1.61)
発熱性好中球減少症	1 (0.81)
リンパ節炎	1 (0.81)
免疫系障害	5 (4.03)
血球貪食性リンパ組織球症	5 (4.03)
耳および迷路障害	1 (0.81)
頭位性回転性めまい	1 (0.81)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	4 (3.23)
上気道の炎症	4 (3.23)
胃腸障害	4 (3.23)
潰瘍性大腸炎	1 (0.81)
クローン病	2 (1.61)
悪心	1 (0.81)
肝胆道系障害	3 (2.42)
自己免疫性肝炎	1 (0.81)
肝機能異常	1 (0.81)
肝障害	1 (0.81)

Table FORM2: 製造販売後調査等における副作用・感染症の発現状況一覧表 (別紙様式15)
(安全性解析対象症例)

イラリス皮下注用150 mg・イラリス皮下注射液150 mg特定使用成績調査 (SJIA)

製造販売後調査等の状況	
安全性解析対象症例数	124
副作用等の発現症例数	35
副作用等の発現割合	28.23
副作用等の種類	副作用等の種類別発現症例数 (発現割合)
皮膚および皮下組織障害	1 (0.81)
脱毛症	1 (0.81)
発疹	1 (0.81)
筋骨格系および結合組織障害	4 (3.23)
関節炎	1 (0.81)
スチル病	3 (2.42)
腎および尿路障害	2 (1.61)
着色尿	1 (0.81)
血尿	1 (0.81)
一般・全身障害および投与部位の状態	2 (1.61)
注射部位反応	1 (0.81)
発熱	1 (0.81)
臨床検査	3 (2.42)
リンパ球数減少	1 (0.81)
好中球数減少	1 (0.81)
血清フェリチン増加	1 (0.81)
白血球数減少	2 (1.61)

器官別大分類 (SOC) , 事象名 (PT) : MedDRA/J version 26.1

同一症例に同一事象 (PT) が複数回発現した場合, 1例としてカウント

SOCは国際合意順, PTはPTコード順に表示

